

令和4年（2022年）度 年間授業計画（シラバス）									
学年	1	学科	全学科	単位	2	教科	数学	科目	数学Ⅰ
学習教材		・数学Ⅰ Progress（実教出版） ・Prominence 数学Ⅰ+A（実教出版）							
学習目標		(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。 (2) 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察し表現する力、事象の特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学を活用しようとする態度、数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、過程を省みて考察を深めたり評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。							
単元と学習内容									
1 学 期	数と式 ・式の計算 ・実数 ・1次不等式			・2次式の展開や因数分解を理解する ・数を実数まで拡張し、簡単な無理数の演算を理解する ・不等式の解の意味や性質について理解し、1次不等式の解を求める					
2 学 期	集合と論証 ・集合と論証			・集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明する					
3 学 期	2次関数 ・2次関数とそのグラフ ・2次関数の値の変化			・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係を理解する ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する					
評 価									
評価の観点		到達度目標「B」（おおむね満足できる）の規準				評価のフィードバック			
						1期末	2期末	学年末	
①	知識・技能	・数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。				○	○	○	
②	思考・判断・表現	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。				○	○	○	
③	主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。				○	○	○	
評価 方法	①			②			③		
	㊦定期考査 ㊨副教材 ㊩グループワーク等			㊦定期考査 ㊨副教材 ㊩グループワーク等			㊦副教材 ㊨グループワーク		